

展示テーマ	I 矢田績その人	① 福沢諭吉と矢田績	② 福沢諭吉 直筆の手紙
	II 矢田績と名古屋公衆図書館	③ 名古屋財界の重鎮“今彦左(大久保彦左衛門)”	④ 読話会と矢田績関連著作物
		① 多年の夢の実現 -独立自由と社会的事業への貢	② 名古屋公衆図書館の設立
		③ 名古屋公衆図書館案内	④ 市への図書館寄贈と翁の逝去
		⑤ 城山三郎と名古屋公衆図書館(余談)	⑥ 生まれ変わった公衆図書館(栄図書館)
		⑦ 建物の終焉と受け継がれる意思(西図書館の建設)	

矢田績関連年表	西暦	和暦	年齢	事項
	一八六〇	万延元年	出生	和歌山県に生まれる(八月七日)
	一八六八	明治元年	8歳	戊辰戦争起こる・明治維新
	一八七七	明治10	17歳	西南戦争起こる
	一八七八	明治11	18歳	
	一八七九	明治12	19歳	新宮藩家老矢田家の養嗣子となる
	一八八〇	明治13	20歳	慶応義塾を卒業
	一八八二	明治15	22歳	時事新報入社
	一八八四	明治17	24歳	福沢の勧めで神戸又新日報主筆就任
	一八八六	明治19	26歳	兵庫県令に請われ県の勸業課長に就任
	一八八八	明治21	28歳	中上川彦次郎(三井中興の祖)の求めて山陽鉄道創立の運輸課長就任
	一八八九	明治22	29歳	明治憲法発布・名古屋市制施行
	一八九四	明治27	34歳	日清戦争起こる
	一八九五	明治28	35歳	
	一九〇五	明治38	45歳	日露戦争起こる
	一九一四	大正3	54歳	第一次世界大戦起こる
	一九一五	大正4	55歳	
	一九一六	大正5	56歳	東神倉庫(三井系)常務取締役就任
	一九二一	大正10	61歳	東神倉庫専務取締役を辞し財界を引退
	一九二二	大正11	62歳	名古屋を永住の地として「帰還」
	一九二三	大正12	62歳	市立名古屋図書館(現鶴舞中央図書館)開館
	一九二四	大正13	64歳	財団法人名古屋公衆図書館完成(六月)
	一九二五	大正14	65歳	私財二五万円を提出して財団法人名古屋公衆図書館設立の認可を受ける(一二月)
	一九二七	昭和2	67歳	名古屋ロータリークラブ創立に参加
	一九二八	昭和3	68歳	社会教育上の功績をもって藍綬褒賞を受ける(六月)
	一九二九	昭和4	69歳	図書館に書庫二十坪を増築寄付する
	一九三一	昭和6	71歳	財団法人名古屋公衆図書館開館(四月十九日)
	一九三五	昭和10	75歳	名古屋ロータリークラブ創立に参加
	一九三七	昭和12	77歳	財団法人名古屋公衆図書館解散(七月)
	一九三九	昭和14	79歳	日中事変起こる
	一九四〇	昭和15	80歳	図書館に五階建て書庫百五十坪を増築寄付する
	一九四一	昭和16		東久邇宮殿下、名古屋公衆図書館に台臨
	一九四五	昭和20		世界恐慌となる
	一九四六	昭和21		名古屋市立名古屋公衆図書館として発足(九月六日)
	一九五二	昭和27		名古屋市立名古屋公衆図書館に基金二十万円を添えて名古屋市に寄付(八月)
	一九五六	昭和31		財団法人名古屋公衆図書館解散(七月)
	一九五八	昭和33		日中事変起こる
	一九六五	昭和40		西図書館改築オープン(六月一日)
	一九九四	平成6		西図書館開館(十一月一日)
				矢田績翁顕彰会胸像除幕式(六月二六日)
				地下鉄工事に伴う建物の移転改装完成(十一月)
				栄図書館巡回文庫を開設(四月)
				市立栄図書館と改称(八月一日)
				市立鶴舞図書館開館
				図書館法公布
				日本国憲法公布
				太平洋戦争起こる